

El Futuro es Pequeño
未来は小さい

戦争の始まり

人間の歩む暗い遭を見てごらん
ゴールのない私たちの跡を笑っている
無言に薙ぎ倒され、裏切られた
神聖な輝き。

泣かずに祈りなさい
些細な虚栄に勝る愛のために
流血に勝る平凡な栄冠のために。

2003年 ベイルート

占有

海が千と一の涙の波紋となる

震える影、塩水の鏡

全ての苦しみを抱える双子

私たちのであれ、彼らのであれ、
思い切って私たちの主張の荒く潮しい記念にしてみよう
あなたと私の

私たちの主張

地平線に
対岸が見える。

2005年 バイルート

空麗 (Berytus Agonistes 苦しみのベイルート)

「神よ、私です、ここにいます。

夜呼んでいるのが聞こえました。」

あなたの声はものすごく恐ろしい。

その後の静けさの中、子供たちの笑いは

薄気味悪い

意地になって泣き喚く、屠殺所へ向かう羊たち。

天国の父、奴隷の製造者、allahu akbar 国敵、

偏向的な分類者

高級帽を被る人々はあなたを案内人として見ている

あなたは天罰の最高責任者。

すすり泣くの？それとも大泣きするの？

声を上げて笑うの？それとも微笑むの？

自らの涙と血を拭うため、旗に包まれる者だけが

我らの人種を恥としない

あなたは気にする？

私らの命を奪うことは出来る

でも、

あなたを決して崇拝はしない。

敬具

回鴨より

2006 年 ベイルート

「あの」静けさ

この突然の静寂は何？

言葉の裏や
ニュースの不足に隠れているもの
理論、除謀、
質問に埋もれ、
「分からない」
「何が出来るの」
「知らないの」と、
同情に溺れている。

いくら速くても
響き」度る戦争の
轟音
-お腹をいっぱい鳴らしながら
燃える宇宙の食道、
飛行する尖った歯。

「恐ろしい」数字を
足して、学んで、記憶することさえ
面倒だったことの静けさ

「この」平和はいつもそこにあった。
聞くには音が大きすぎた。

2007年 バルセロナ

彼らと私たち

棄敵な私たち
ひどい彼ら
絶えず喧嘩している。
もちろん
私たちは彼ら
そして彼らにとって
 彼らは私たち。

でも彼ら怯決して
私たちにとって
 私たちではない。

ひどい私たち
棄敵な観ら
絶えず闘い
決して卦カ、ち合わず
シーツの下に潜るまで恒
むい彼らとひどい私たち
また
堆肥を撒く。

2007年 パルセロナ

彫刻

空高く、重力と対流、
自に見えない過酷な天上の魔女が、

交じり合う沈殿物を引っ張りながら、激しいうねりを編み、
私たちの方に転がり、
同じ波を押しながら導き、
波を打ち、擦りながら、
足元の確力、な

岸を「形作る」。

声を揃えて、目を据える細い綿のずっと向こうに、
波が転がりながら地平線から離れていく
患いで、落ちながら、楓興と、強引に、
潮しい音を立てながら、裂きながら、
叩きながら、ぶつかりながら
足元の確かな

岸を『形作る』。

マーケットでは、毎日、どんな岸でも思い上がり、見せびらかし、そして売る
まるで自分の本置かのように、精神と唯一の足跡で、
崇められ掲げられた祭壇は、
保護されていないのに殺人的に守られていて

「こんなふうに彼らは私たちが形作り、私たちは彼らを形作る」
足元がおぼつかずよろめく。

自然に、空高く、
彼らは宇宙の口で笑うのだ。